

健康と光線

アンチエイジング

わが国は高齢社会を迎えています。高年齢者は皆、出来るなら老化を遅らせて元気でいたいと願っています。この加齢による老化に逆らうという意味合いで、アンチエイジングという言葉が使われていますが、実状は美容整形やUV(紫外線)カット化粧品やホルモン療法やサプリメントなど、ビジネスチャンスに結び付けるものばかり目立ちます。美容整形医は顔の整形をすることがアンチエイジングと言います。UVカット化粧品の常套句は、紫外線による日焼けからお肌を守りしわやしみを防ぐのがアンチエイジングと言います。度々こう聞かされると、アンチエイジングは美容整形や日光を浴びないことと誤解するかも知れませんが、アンチエイジングの真の目標は見栄えのように取るに足りないことではなく、寿命が尽きるまで健康寿命を保つこととなければ意味がありません。

健康寿命とは、QOL(生活の質)に支障がない、身体的、精神的、社会的に良好な健康状態を保つ生存期間のことです。

すなわち加齢に伴う身体機能や精神機能の低下を防ぎ、生活習慣などの病気を予防し、自立した社会生活を営む能力を保持することです。

健康寿命を延ばす生活習慣

人類の知力、天敵をなくし、食料を増産して飢えをなくし、環境衛生を整備して伝染病をなくし、医学を進展させるやや手前勝手な御都合主義のきらいはありますが、平均寿命を延ばすことには成功しました。しかし自己の健康寿命を延ばして限界寿命との落差を縮めるには、真つ

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費年500円
電話 東京(03)
3793-5281
3712-5322

アンチエイジングは健康寿命

— サナモア光線療法の勧め —

サナモア光線協会

サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

り、日光の恵みが欠かせないことを認識することから始めなければならぬと考えています。日光浴で日焼けをするのは、日光の恵みを受けて健康に欠かせない必須栄養素のビタミンDを生成するのと同義なのです。アンチエイジングを顔の見栄えに摩り替える美容整形医やUVカット化粧品の甘言に乗せられては、健康寿命を縮めます。

日光を浴びることは、自律神経・内分泌系の機能を調整して日々のリズムを作り、気分を安定させ、ストレスに対する抵抗力を高め、自然治癒力を向上させ、認知症を予防します。また

ビタミンD欠乏症はくる病で発見されましたが、日光を浴びる当たり前の生活をしていればビタミンD欠乏症は起こしません。加齢に伴うお肌の生理的老化を

日光のせいにする味噌も糞も一緒に扱おうな広告を信じて、骨はボロボロの骨粗鬆症になり骨折で寝たきりのボケ老人になっては話になりません。日光の恵みを素直に信じ自然と共生する生活が、足腰の筋肉を丈夫にして骨粗鬆症を予防して骨折を防ぎ、動脈硬化、高血圧、糖尿病、感染症、免疫異常、悪性腫瘍などあらゆる病気の危険因子になるカルシウム・パドックスを予防して細胞分化誘導作用を正常に保ち、健康寿命に寄与するのです。

今の時期から春先にかけて、日光は夏の四分の一から五分の一になるため、年間を通してビタミンD値は最も低くなりますが、日光の恵みを我が物にして健康寿命を延ばす真のアンチエイジングに役立てるため、サナモア光線療法の基本照射を勧めます。



平成十九年 元旦

㈱ 東京光線療法研究所
サナモア光線治療院

(五日より営業します)

一病息災 一病息災

診断基準の考え方

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

「メタボリック

シンドローム」って

平成十八年の流行語の一つに「メタボリックシンドローム」が選ばれましたが、「イナバウアー」「品格」「ハンカチ王子」など世間でかなりの話題をさらった言葉と肩を並べたことには驚きました。なぜなら、医療に携わる者として、病名のような単語は、流行語とはかけ離れた存在と考えていたからです。ただ「メタボリックシンドローム」の場合、その予防効果を謳った関連商品の多さを考えれば、流行語に選ばれても当然だったのかもしれません。

しかし、「メタボリックシンドローム」は、ここにきて急に提唱された概念ではありません。もともと、高血圧、高脂血症、糖尿病などの疾患を重ね合わせ有する患者の生命予後は悪いということが分かっており、「シンドロームX」、「死の四重奏」、「内臓脂肪症候群」などと呼ばれていました。最近になり、欧米を中心として、これらを「メタボリックシンドローム」

で統一しようという話がまとまったため、本邦においても追随することとなったわけです。そして、できあがった診断基準は、諸外国に比べて厳しいものとなりました。内臓に蓄積した脂肪のマーカーとして、簡便ということから腹囲が用いられていますが、一律、男性では85cm以上、女性では90cm以上という値を設定し、必須項目としたのです。ちなみに、米国の基準では、男性が103cm以上、女性は89cm以上と体格に応じて男性の方が大きい数値となっています。本邦の腹囲も根拠としたデータはあるようですが、腹囲を85cmすると中年男性の多くが入ってしまうことになります。これに加え、脂質、血圧、血糖値の異常を二つ以上有することで「メタボリックシンドローム」の診断基準を満たすわけですが、厳しい診断基準を作成することが、患者数の増加に直結することは、紛れもない事実です。

厳しい診断基準 は病人を増やす

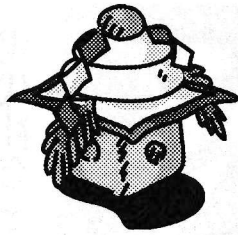
数年前から高脂血症、高血圧、

糖尿病それぞれの診断基準は少しずつ厳しくなっています。当然、病気を考えた場合、正常との境界域があるわけですが、診断基準を厳しくすることにより、自然と境界域の患者は病気になる、病人は増えることになりました。そして、病名さえ付いてしまえば、あとは医師の裁量で投薬が開始され、定期受診、定期検査の流れに乗るということになります。つまり、診断基準を少し厳しく変更するだけで、莫大な数の患者が増えることになるのです。しかし、これらの生活習慣病を早期に見つけて、病気が進行する前に手を打った方が医療費を抑制できるという考え方も理解できますし、診断基準は、なくてはならないものです。私も診断基準が不要と言っているわけではありません。現状の診断基準の中に、年齢差、性差、危険因子などの要素が、盛り込まれていないことが問題なのです。高脂血症を診断する際の日本動脈硬化学会のガイドラインでは、一律、総コレステロール値は220mg/dl以上とされていきますが、高齢の女性で他の危険

因子を持たない場合は、総コレステロール値が220mg/dl以上でも、心疾患の危険は低いいため、投薬する必要はなく、食事療法のみで十分なのです。ただ、日本人は薬好きな国民で、外来を受診した時に薬をもらわなければ、病院に来た意味がないと考えている方が多いので、円滑にこの作業が遂行されているのでしょうか、このことは、薬を出す側、出される側の双方に問題があると思います。

自分にとっての正常値

臨床医学の世界では、病気の診断基準が、専門様の印籠のような絶対的なものとして捉えられがちですが、本来であれば、年齢差や性差によって、診断基準には差異がなければならぬのです。若者と高齢者、男性と女性といった違いを無視して、同じ診断基準を当てはめることに無理があることは、容易に理解できると思いますし、そのような観点から診断基準を見直すと、案外、異常値が自分にとっては正常値になるかもしれません。



サ/ナ/モ/ア/便/り

vol.28

宇都宮 正範



第十二期
サナモア光線治療師
養成講座のお知らせ
本年度も前年に引き続き、サ
ナモア光線治療師養成講座を、

東京にて七月に開講します。これまで、八十名以上の方の参加を頂いて参りましたが、サナモア光線協会の中心的な事業の一つとして、光線治療師の養成は未永く続ける所存であります。光線治療院の開業をご検討されている方やサナモア光線療法について勉強したいとお考えの方は、是非、ご連絡下さい。なお、日程等の詳細につきましては、次号に掲載する予定です。

第二十四回 「光と熱研究会」 のお知らせ

医療に関連した話題の講演や治験例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日時：一月二十日(土)
午後二時三〇分
場所：サナモア光線治療院
三階会議室

治療院 & 治療師紹介

このコーナーでは、光線治療院を開業され御活躍中の先生方や、光線治療師の資格を取得され、光線療法の啓蒙・普及活動に携わっている先生方をご紹介します。

青山ハンス

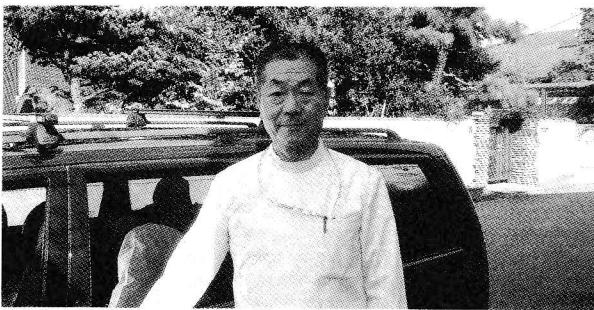
光線治療院

院長：石田吉賢先生七期
住所：大阪府吹田市青山台
三三三七

電話：〇六六八七二四五七〇、
〇九〇八九三三七三七〇

一言：私とサナモアとの出会いは、35年前に皮膚病で苦労していた頃、友人に紹介され、サナモアで完治したことが始まりでした。以来、家族全員でサナモアを愛用し、健康を維持してきました。

平成14年には、定年退職を目前に控え、サナモア光線治療師



石田吉賢先生

養成講座を受講し、資格を取得しました。

募集

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

現在のところ、周りには高齢の患者さんが多いため、車で往診しての治療を主に行っていますが、ご家族や介護師の方に照射方法を教え、治療効果の向上を目指しています。また、訪問先にて、故障して使われなくなった治療器を目にするのも度々あるため、これらの治療器のメンテナンスにも力を入れています。

これからも光線療法の効果と素晴らしさを多くの方に伝え、サナモア光線療法の普及に力を注ぐ所存であります。

第18回

日本療術学会から

東京都 東京全日空ホテル

平成18年10月29日〜30日

シンポジウム

「現代社会と療術」



財全国療術研究財団

常務理事 宇都宮光明

光線療法の理念

現代社会の医療でまず思い浮かぶのは、近代西洋医学（以下「医学と略」）である。その一方で、光線療法は古代の日光療法から今日まで脈々と受け継がれて来た。光線療法が現代社会の医療として存立する意義を考察するに際して、医学の治療法と光線療法の理念の違いを明らかにする必要がある。

近年、医学は特定病因論をドグマにして、直接病因に作用する科学的な特異の治療法、換言すれば人知に基づく人為的な薬物療法、手術療法、放射線療法を中心に進歩した。そのため外因が明らかな疾病や対症療法で優れた効果を挙げているが、有害有効で、未だ人知を超えた自然治癒力を軽んずる傾向をなすしめない。それに対し光線療法は、霊感的、直感的に太陽光の恵みを信じた人々が始めた自然療法であり、健康を求めている人から慢性病の人を対象にした、経験的、実証的な無害有効な非特異的治療法である。すなわち医学が診断に基づいて病気を直接治療するのに対し、光線療法は病気を直接治療するのではなく、クライアント（病人）の内に因に作用する全人的療法であり、症状が改善するのは自然治癒力が向上し全身状態が改善した結果である。

自然治癒力

自然治癒力とは生来、生体に備わっている治癒システムで、そのあらましを表示（図）したが、診断能力がある監視体制が情報に対応して作動する生体反応である。しかし生体が情報に対応して適切に反応するように自然治癒力を維持し向上させるには、あらゆる生理機能が適切

に作動し、神経系、内分泌系、免疫系のホメオスタシス維持機構が正常に作動する必要がある。すなわち自然治癒力は健康状態により、あるいは精神状態によりシーソーのように上下動するのである。

生来備わっている自然治癒力

生体の治癒システム

- ☆診断能力がある監視体制が待機しており、情報に対応して作動
- ☆生体反応の過剰な興奮、抑制を防ぐホメオスタシス・恒常性維持機能
- ☆免疫応答・自己防衛機能
- ☆創傷治癒・自己再生機能

れている独自の作用、すなわち紫外線のビタミンD生成、可視線の体内時計の調節、赤外線のリズム・熱ショック蛋白質の遺伝子発現など、自然治癒力を向上させる背景に独自の作用が関わることは明白である。

また光線療法の温熱刺激は、体性感覚神経を介して脊髄あるいは脳幹の反射中枢に伝えられ、自律神経遠路の活動を変化させる体性―自律神経反射を引き起こし、自律神経が支配する効果器の機能を反射性に調節する。自律神経は交感神経と副交感神経の二重、拮抗支配で調節される不随意神経で、情報に応じてあらゆる生体反応を支配するため、常に休みなく自発性に活動しているが、容易に異常な興奮や抑制を起し、その結果、病因として作用し、あるいは病状を悪化させることが指摘されている。光線療法の心地よい温熱刺激は、体性―自律神経反射を介して自律神経の異常な興奮や抑制を調節し、神経系、内分泌系、免疫系のホメオスタシス維持機構を正常に作動させることで、血行を改善し、臓腑の異常を回復する。

(五ページに続く)

(四ページより続く)

慢性 痛

この点について光線療法で改善する慢性痛を例に述べると、痛みが患部の交感神経を異常に興奮させ、患部の血管収縮、筋緊張を起こして血流を低下させるため、発痛物質が滞留し、更に痛みが増して交感神経を刺激する痛みの悪循環に陥ることが知られているが、光線療法の鎮痛効果が交感神経の異常な興奮を緩和して悪循環を断ち切れれば、鎮痛効果が高まり持続する蓋然性はある。

おわりに

光線療法が現代社会で医学と並立して存立し、その独自性、有効性を主張する根本の理念は自然治癒力の向上にあり、クライアントが治療効果を期待して受け入れる基盤であることを強調して結びにする。

(シンポジウム・「現代社会と療術」の基調講演の要旨を変えた。)

一般演題

慢性副鼻腔炎蓄膿症の施療経験



社団法人 神奈川県療術師会
海渡一二三

目的

長年、慢性副鼻腔炎で苦しんでおり、耳鼻科で手術を六回受けたが、頭が重く、時に強い頭痛があるため七回目の手術を受けた。しかし症状が改善しないため光線療法を勧められて来所し、著しい効果を認めたので報告する。

症 例

〔患者〕 43歳 女性 主婦
〔既往歴〕 高度の冷え性。
〔主 訴〕 頭重感、頭痛、鼻閉

による口呼吸、後鼻漏、嗅覚障害。
〔現病歴〕 慢性副鼻腔炎のため耳鼻科で計七回の手術を受けたが改善しなかった。患者はもう手術はしたくないので、知人に勧められた光線療法に最後の望みを託すと言っていた。

治療経過ならびに結果

病歴から勘案して、患者に光線療法は長期に及ぶ可能性があることを話し、患者が受け入れたので治療した。光線療法はA Bカーボンを使用し、三台から四台の治療器を使って毎日多灯照射した。部位ならびに時間は、側臥位で鼻部(顔面)に目を閉じて30分、この間に腰と臀筋と膝頭に各15分、次に腹と後頭部と足裏に各15分、次いで仰臥位で右横顔と左肩と右横腹と左横膝に各15分、左右を代えて各15分

照射するのを基本としたが、治療効果を高めるため、頭痛がひどければ照射箇所を追加したり時間を延ばしたりして、極力気持ち良く受けられるように心掛けた。

治療を始めて25日ほど経過した頃から、左右の鼻から粘り気があってドロドロした黄色い悪臭を伴った鼻汁がドクドクと排出し始めたので、B Bカーボンに換えて続けたが、鼻汁はベツトのシートに垂れるほど大量に出るようになり、悪臭は治療院の窓を全開にしなければ閉口するほど強烈な臭いがした。このような鼻汁が始めてから、頭重感や頭痛は快方に向かい、鼻づまりのため口でしていた呼吸が鼻で楽に出来るようになった。大量の鼻汁は約一ヶ月間続いたが、それから徐々に減り悪臭もなくなり、頭重感や頭痛を訴えなくなった。

治療を始めて三ヶ月が過ぎた頃には、症状を訴えることはな

く、顔色が良くなり、食欲が出てきて、少し太って元気になった。予想外の短期間で著しい効果を認めたので、演者の治療を打ち切り、自宅で体質改善と再発予防のため治療を継続するようになった。

考案ならびに結語

慢性副鼻腔炎は遺伝、アレルギー体質、栄養などと関係があるとされ、日本人に多い病気だが、副鼻腔内で細菌感染を繰り返して膿が鼻腔に排出されないと、蓄膿症の状態になる。今回の報告例で印象に残った点は、悪臭を伴う膿のような鼻汁が大量に排出したのに一致して、頭重感、頭痛、鼻閉による口呼吸が急速に改善したことである。これを境に活動意欲が高まり、食欲が出て太って健康体になった。なおその後、就職したが、再発はなく、健康な体質になったことを喜んでいる。

治験例報告

胃潰瘍による痛みが

サナモアで改善

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

症例 45歳 男性

症状 新しい職場で慣れない仕事にストレスを感じていたが、しばらくして、上腹部に時々痛みを感じるようになる。痛みは空腹時に強かったが、徐々に増強してきたため近くの病院を受診。精密検査の結果、大きめの胃潰瘍を指摘され、穿通の疑いもあるため、入院治療を勧められたが、家庭の事情で早急な入院は困難であった。この時、知人からサナモア光線療法を熱心に勧められたため、半信半疑の気持ちで来所された。

療法経過 治療は、初めBDカーボンで集光器を使用して、上腹部を30分照射後、腹部全体20分

背部10分、腰部20分、上背部(胃の位置を集光して30分照射した。さらに、ABカーボンに変更して、足裏20分、膝10分をそれぞれ照射。一日おきに三日間の治療を行った後、自宅での治療を開始。一週間後に、今ま

で感じていた上腹部の重苦しい感じや急にさしこむような痛みは改善してきたとの連絡を受けた。その後、経過は良好で、一か月後の再検査では、当初疑われた胃潰瘍の穿通は否定され、ほっと胸をなでおろした。担当の医師からの指示通りに、禁煙、ストレス軽減、食生活の注意は怠りなく、また、再発の予防目的でサナモア光線療法も毎日続けています。

(TEL078-331-1358)

治験例報告

前立腺癌をサナモアと

ホルモン療法で治療

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

症例 70歳 男性

症状 サナモア愛用者。最近、排尿障害と下腹部の膨満感を感じ。病院を受診したところ、前立腺癌の疑いを指摘され、精密

検査を受ける予定となったため、検査までの間、少しでもサナモアで良くしたいとの希望で、ご本人より照射方法の質問を受け

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持たませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株東京光線療法研究所

療法経過

治療は、最初にBDカーボンで会陰部を30分照射後、集光器を用いて、さらに30分以上照射。その後、下腹部、腰部、膝、足裏をそれぞれ20から30分照射するよう指示した。とくに、会陰部の照射に関しては、可能な限り、長時間行うことを付け加えた。その後、病院の精密検査の結果で、やはり前立腺癌と診断。手術は行わずにホル

モン療法のみで経過観察することとなり、サナモアも併用し、これまでと同様の治療を施行した。数か月後の報告では、経過は非常に良く、前立腺癌の腫瘍マーカーの数値も低下してきているので、これからもサナモアを続けると言って喜ばれていた。

(TEL092-581-0395 五七二-1573)

治験例報告

左足関節の捻挫、骨折に

対するサナモアの効果

川崎市 東京光線治療院

海 渡 一二三氏報告

症例 58歳 女性

症状 左足関節を捻挫、骨折した

たこのことで来院。初診時は痛みと腫れが強く、松葉杖をついて来られた。左足関節から膝下にかけて紫色に皮下出血しており、腫れも強かったが、患者はサナモア愛用者であり、当院での治療と自宅治療で治したいと希望され早速治療を開始した。

療法経過 治療にはA Bカーボンを使用し、四台の治療器を用いた。最初は右側臥位にて、一台は患部である足関節を30分照射。他の三台で、臀部10分、顔面10分、腰部10分照射後、腹部10分、後頭部10分、腰部10分照射し、膝10分、下腿アキレス腱10分、足裏10分を照射した。次に仰臥位として、左足関節の内側15分、左膝外側15分の照射を

行い、左足関節の外側15分、左膝内側15分照射して終了した。自宅での治療は、痛みが軽くな

るまで少しでも長い時間行うことを指示し、当院へも、しばらくは毎日通院してもらい治療を行った。約一か月の通院後、自宅での治療のみで経過観察したが、治療開始から約二か月で、ほぼ完治したようだと報告を受けた。

(TEL)044-7315067

体験報告

内痔核脱出が

サナモアにて軽快

青森市 神整体クリエイト光線治療院

神 一 男氏報告

症例 34歳 男性

症状 肛門部に1.7 cm×3.8 cm大の内痔核が脱出したため、市販薬を塗布して様子を見たが改善しなかった。痛みは徐々に強くなり、出血、膿粘液の排出が認められたため、専門医の診療を勧められたが、手術を受けたくな

いとサナモア光線療法での治療を希望されて来院した。

療法経過 治療は、A B、B Bカーボンを使用。最初、仰臥位にて両膝を立てて開脚した姿勢で、患部である肛門を50分照射。三日間連続で治療した後、B Bカーボンにて、二日連続で50分

照射した。五回目頃までは、痛みや出血のため、側臥位をとれず、単灯にて肛門部のみを照射したが、その後、側臥位とし、二灯にて、仙骨部25分(A B)、肛門部25分(B B)照射後、仙骨部25分(B B)、肛門部25分(A B)を照射した。治療開始二回目で、痛みはかなり軽くなり、五回の治療後には、出血および粘液の漏出がおさまり、痔核を手で押

し込むことができるようになった。痔核は八回の治療で自然に肛門内に戻り、その後は脱出を認めていない。肛門部の静脈はうっ血しやすく、改善するためには光線療法や入浴が効果的であることを十分説明して、特に便秘や冷えに注意するよう指示した。患者は手術せずに、しかも短期間で治るサナモア光線療法の効果に驚いていた。

全自動光線治療器

はつらつさんと
ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきまし

た。この点を改良したのが全

自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントでできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

*

なおはつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

サナモア光線療法 体験記

味覚障害を

サナモアで克服

石川県 本西 かよ様

少し前から食事の味が分かりにくくなり、とても淋しい思いをしておりました。老体となり舌の感覚が衰えたのだから、仕方のないこととあきらめて、高齢を恨めしくも思いました。しかしながら、ふと約二十年前に夫が大腸癌を患った時のことを思い出しました。それは末期の状態に陥り、食べ物をお口にしないやでいやでしようがなかったため、私は、それならと夢中で大きく口を開けてもらい、口の中、舌にサナモアを照射しま

した。すると、数回の治療で、みるみるうちに、食事の味が分かるようになり、食欲を盛り返したのです。そのことを思い出したので、私もサナモアで治そうと考え、早速、一日に一、二回の照射を開始したのです。すると、どうでしょう、徐々に食べ物の味が分かってきたのです。これはしめたぞと思うと同時に、大変うれしくなりまし。何分にも老体のこと、とても全快までには至りませんが、今も毎日、サナモアのお世話になり、おいしい食事を頂いております。八十歳を過ぎて、九十歳ともなると、舌の感覚がこのように衰えるとは思いませんでした。当初、医院から頂いていたお薬もやめて、今では、サナモアだけにお世話になっております。本当にありがとございます。

四十年来サナモアの

お世話になってます

世田谷区 有坂 三郎様

私がサナモア光線療法のこと

を知ったのは、四十一年以上も前のことです。それ以来、ずっとサナモアのお世話になってきましたが、昔は風邪をひいた時や体調の優れない時などに、サナモアを使うのみでした。しかし、私は九十歳を過ぎ、妻も八十代半ばとなると、サナモアは日常生活の必需品となっています。

足腰が痛い時などには、毎日のように二人で背中、腰、足にサナモアを照射し著しい効果を実感しています。これからもサナモアに感謝しながら、日々を元気に過ごしていきたいと思えます。ありがとございます。

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものではありません。ついでに体験記をお送りくださいますよう、お願いいたします。

なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、一、季刊紙、「健康と光線」の発行、二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 三七九三―五二八一
三七二一―五三二二

(本紙の無断転用を禁止します。)